

受賞報告 遺跡のガイドや情報発信に尽力
伊勢堂岱遺跡ワーキンググループが秋田県特別表彰

平成30年度秋田県特別表彰を受賞した伊勢堂岱遺跡ワーキンググループ(佐藤善壽代表)が、8月30日に市役所を訪れ、津谷市長に受賞を報告しました。

伊勢堂岱遺跡ワーキンググループは、遺跡のPR活動などを通して、20年以上にわたり伊勢堂岱遺跡のガイド・情報発信に取り組んでいます。

佐藤代表は「受賞は多くの人のおかげ。想像以上の表彰を受け、感謝している」と述べました。

津谷市長は「これまでのご労苦に心から敬意と感謝を申し上げる」などと受賞をたたえました。



成績報告 中学生が全国大会で活躍
合川中相撲部・森吉中ソフトテニス部成績報告

全国大会に出場した合川中学校相撲部と森吉中学校ソフトテニス部の選手11人が、9月6日に市役所を訪れ、津谷市長に大会結果を報告しました。

合川中相撲部は、山口県岩国市で行われた全国大会で団体戦3位の好成績を残し、森吉中ソフトテニス部は、広島県尾道市で行われた全国大会で男子団体戦3位の好成績を収めました。

津谷市長は「全国大会3位という素晴らしい結果報告を受け、たいへん誇らしい。さらに上を目指し頑張ってもらいたい」などと激励の言葉を送りました。



地域行事 力強い太鼓の響きで観客を魅了
第16回北秋田市たかのす太鼓まつり

北秋田市たかのす太鼓まつりが、9月9日に大太鼓の館で開かれ、力強い太鼓演奏と軽快な踊りを観ようと県内外から大勢の観客が詰めかけました。

この日はあいにくの雨となり、会場を野外ステージから館内のホールに変更して行われ、綴子上町大太鼓保存会がオープニングを飾った後、各団体が次々と熱演し、観客からは大きな歓声と拍手が送られました。最後は、綴子上町と下町の大太鼓保存会が合同演奏を披露し、4張りの大太鼓が共鳴する迫力あるごう音でまつりを盛大に締めくくりました。



市内のいろいろな出来事を紹介します



意見交流 よりよい学校生活を築くために
きたあきたいじめゼロサミット

きたあきたいじめゼロサミットが、8月22日に市民ふれあいプラザで開かれ、市内小・中学校の代表者17人が、いじめの対策について意見交流しました。

このサミットは、児童生徒が自らいじめの問題について考え、いじめに向かわせない人間関係づくりに取り組むことを目的に開催されているものです。

参加者は、グループ別に話題を一つ決め、出し合った対応策や解決策を模造紙にまとめた後、全体で意見を共有し、いじめの防止に全校で取り組んでいくことを誓い合いました。



縄文会議 遺跡の今後について考える
北秋田市縄文子どもシンポジウム

北秋田市縄文子どもシンポジウムが、8月26日に市民ふれあいプラザで行われ、北海道と北東北3県の小学生が自分たちの地域にある遺跡の保護や活用法について発表しました。

同シンポジウムは、縄文遺跡のある教育委員会の専門職員および児童が、遺跡のあらましや研究発表、遺跡に寄せる想いなどを共有するため開催しました。

発表後は、伊勢堂岱縄文館の中嶋俊彦館長が「これからも遺跡の素晴らしさを語り継ぐ役割を担ってもらいたい」などと今後の期待を述べました。



受賞報告 花の栽培で環境美化に努める
環境大賞(秋田県知事表彰)受賞報告

環境大賞(秋田県知事表彰)を受賞した高橋重敏さん(85歳・元町)が、9月7日に市役所を訪れ、津谷市長に受賞を報告しました。

環境大賞は、環境保全に関する実践活動が他の模範となる個人又は団体を表彰し、環境保全に関する自主的な取り組みを促すことを目的としています。

高橋さんは「健康でいられるのは花づくりのおかげ。花に感謝の気持ちでいっぱい」などと喜びを語り、津谷市長は「今回の受賞を励みに、いつまでも元気でいてください」などと長年の活動を労いました。



叙勲伝達 生前の功績がたたえられる
故・湊勇次郎氏叙勲伝達式

元阿仁町消防団長、元阿仁町議会議員で、6月に逝去された湊勇次郎氏(満87歳・阿仁荒瀬)が、このほど叙勲の瑞宝双光章を受章し、9月7日に秋田地域振興局で伝達式が行われました。

湊氏は、昭和27年から44年間にわたり、豊かな消防知識や経験を生かし、地域住民の信託に応えるべく率先して消防業務に精励されました。

伝達式では、長女の高関早苗さん(秋田市)が出席し、中嶋消防長の同席のもと、秋田地域振興局の小野一彦局長から勲記と勲章の伝達を受けました。

